

2019年度 上期 決算のご説明

(2019年4月1日～2019年9月30日)

- I. 19年度上期 決算概要
- II. 再成長への転換点づくり

2019年10月31日
本多通信工業株式会社
代表取締役社長 佐谷 紳一郎

Value by Connecting **HTK**



台風15号/19号/大雨被害の影響について

2

被災された皆様に、心からお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

～ 弊社への影響～

- ・ グループ全従業員での人的被害、および全拠点での物的被害はありませんでした
- ・ 被災されたパートナー(仕入先)様がごぞいます協働して復旧に取り組んでいます
- ・ 本災害による業績への影響はございません

※災害義援金を長野県等にお届けしました

Value by Connecting **HTK**



I. 19年度上期 決算概要

低調が継続するも、まずは土台固めに取り組む

Value by Connecting **HTK**



1. 19/上の実績

貿易摩擦および主要カーメーカの減産により、低調が継続
大幅な減収減益

単位:百万円

	18/上 (利益率)	19/上 (利益率)	前年比	19年度 業績予想	進捗率
売上高	9,189	7,546	▲18%	18,000	42%
営業利益	591 (6.4%)	117 (1.6%)	▲80%	1,200 (6.7%)	10%
経常利益	638 (6.9%)	95 (1.3%)	▲85%	1,150 (6.4%)	8%
純利益	338 (3.7%)	80 (1.1%)	▲76%	830 (4.6%)	10%

◆為替(期中)
(期末)

1\$=110円
1\$=114円

109円
108円

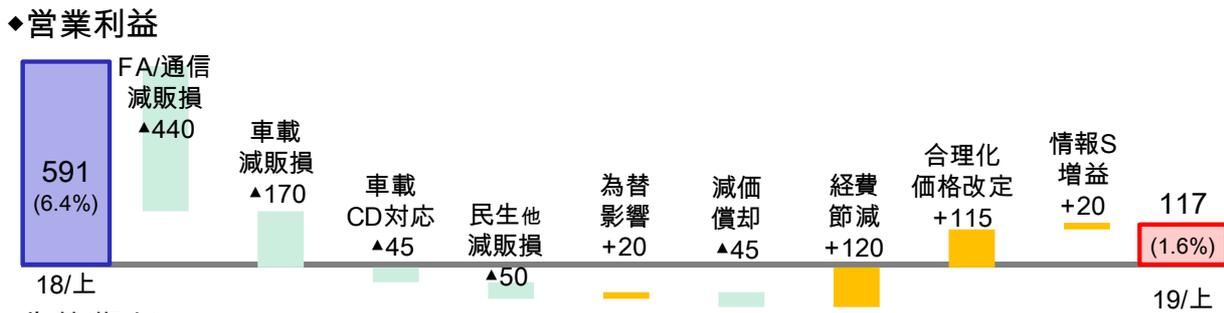
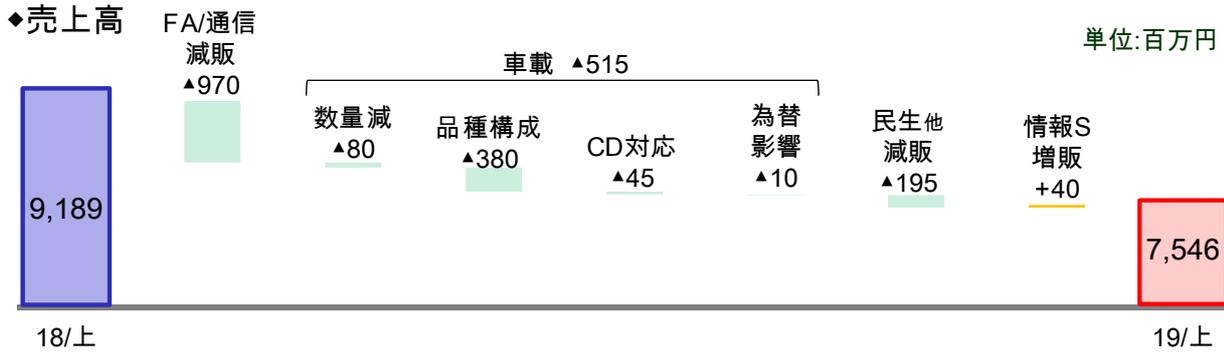
107円
107円

Value by Connecting **HTK**



2.対前年比較(売上高・営業利益)

FA・通信および車載での15億円減収により6.5億円減益



◆為替(期中)

1\$ = 110円、1/パーツ = 3.40円

1\$ = 109円、1/パーツ = 3.49円

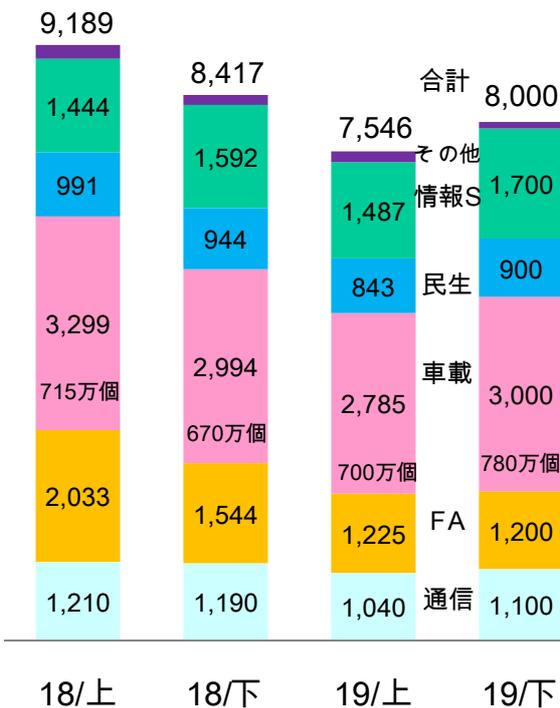
Value by Connecting HTK



3-1. 19/下 分野別売上見込み (19/上比)

上期< 下期を見込むも、急回復は期待できず

単位:百万円



◆19/下の動向 (対19/上)

- ➡ 米中貿易摩擦の出口が不透明
下期の急回復は期待できず
- ➡ 市場の活況が継続、高水準で推移
通期新記録(32億円)を狙う
- ➡ PC切替需要によりカスタムコネクタ、
SDソケット(UHS-II)が堅調
- ➡ 車載カメラ搭載メーカーの拡がり+70万個
センシングカメラの納入開始+10万個
- ➡ 在庫調整は解消したが、
設備投資需要の低調が継続→不透明
- ➡ 5G向け基幹系インフラ強化に動き
DC向けメンテ用の新商品に期待

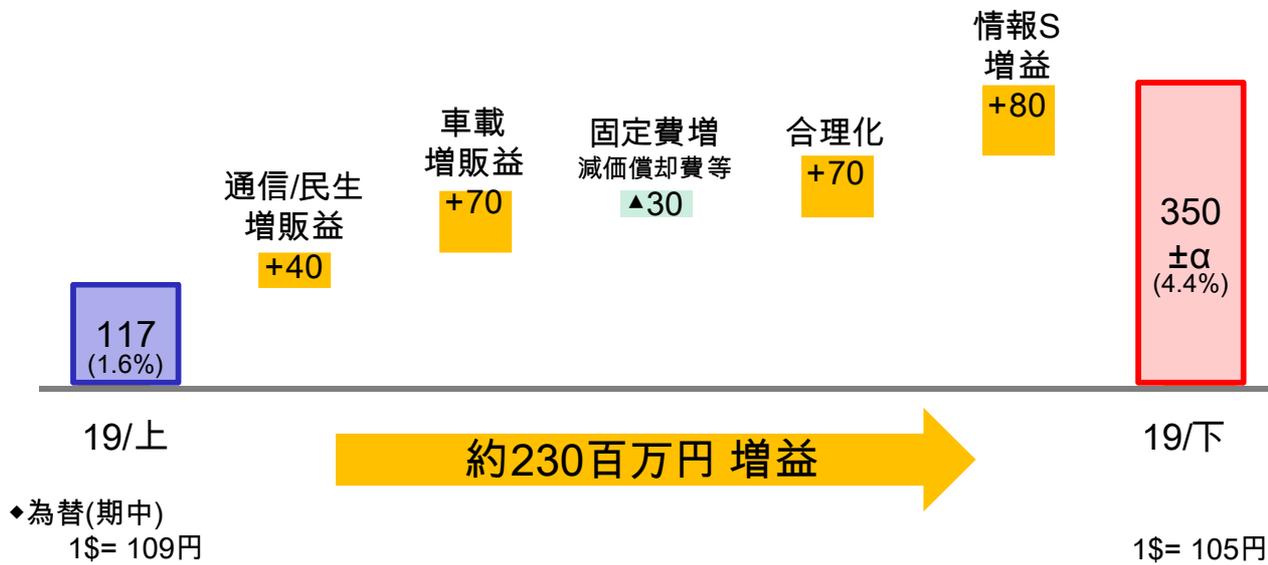
Value by Connecting HTK



3-2. 19/下 営業利益見込み (19/上比)

四半期売上40億円のベースラインに戻すことにより、
5%近い営業利益を狙う

単位:百万円



Value by Connecting **HTK**



4. 通期業績予想の修正

上期業績および下期見込みを踏まえ、
通期業績予想を下方修正
配当予想(21円)は据え置き

単位:百万円

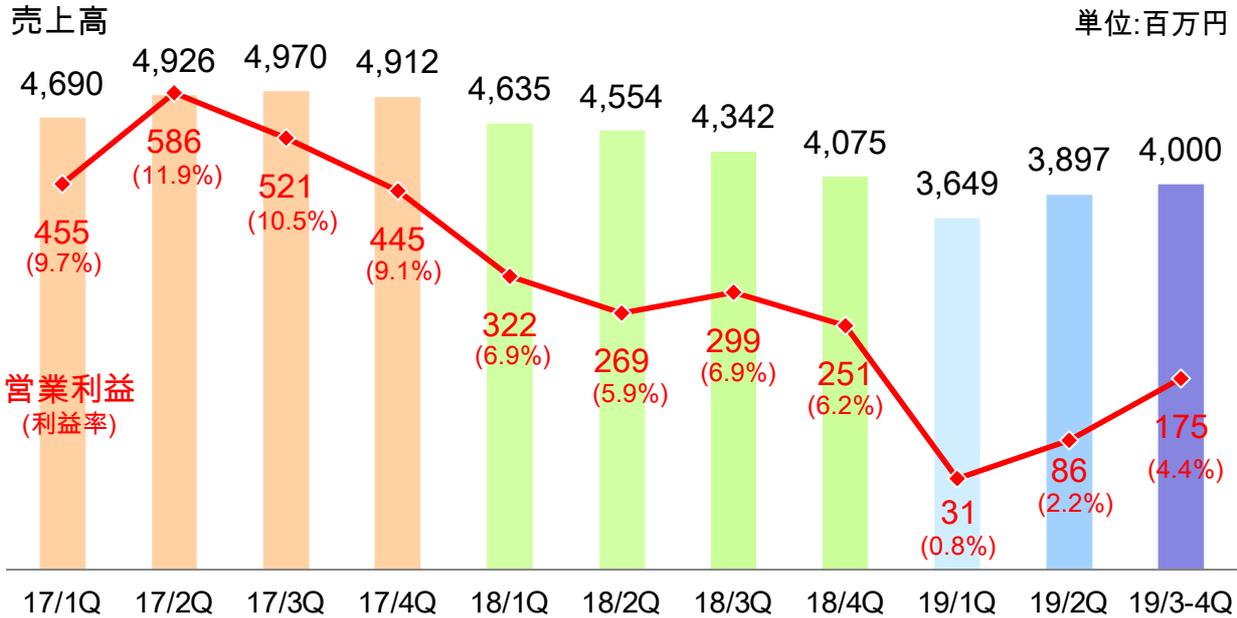
	19/上 (利益率)	19年度 当初予想	上期 進捗率	19年度 修正予想	上期 進捗率
売上高	7,546	18,000	42%	15,500	49%
営業利益	117 (1.6%)	1,200 (6.7%)	10%	450 (2.9%)	26%
経常利益	95 (1.3%)	1,150 (6.4%)	8%	400 (2.6%)	24%
純利益	80 (1.1%)	830 (4.6%)	10%	250 (1.6%)	32%
◆為替(期中)	109円	107円		107円	
(期末)	108円	107円		105円	

Value by Connecting **HTK**



5.再成長への土台固め

FA分野の回復が見通せない状況を前提に
土台固めに取組む



◆為替(期中)

1\$=111円 111円 113円 108円 109円 111円 113円 110円 110円 107円 105円

Value by Connecting **HTK**



II.再成長への転換点づくり

改革・革新の進捗状況

Value by Connecting **HTK**



1. 19年度の位置づけ

成長軌道に乗せ直す重要な転換点
根本課題に対策を打ち、改革・革新に取り組む

【改革・革新テーマ】

- ①車載用：ポートフォリオを充実させつつ、倍販
- ②業務用：独自のビジネスモデルで高収益化
- ③情報S：新技術で拡幅し、中核事業化



2-1. 車載用コネクタ

製販技“三位一体”改革: オンスケジュールで進行中

販

ポートフォリオの充実と倍販

攻：国内外の新顧客・用途を開拓

19上：新設部署が案件を開拓/推進
モニタ接続・次世代ヘッドライト・電子ミラー等 約20件

守：主要顧客のインストアシェア確保
→進化・拡大する車載カメラへの対応

技

CASEを睨んだラインナップ拡充

○次世代高速伝送用コネクタの開発

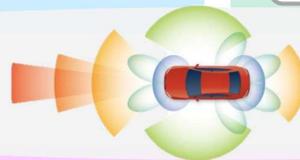
6Gbpsモデルを開発



○次世代センシングカメラ用の量産化

12月から量産開始
19年度 10万個 → 22年度 1,000万個

CASEで広がる市場



- ・一層のエレクトロニクス化
- ・センサ系・通信系の需要増
- ・見るカメラから測るカメラへ進化

製

生産能力の倍化(15M→30M個)、コスト競争力強化、BCP対策

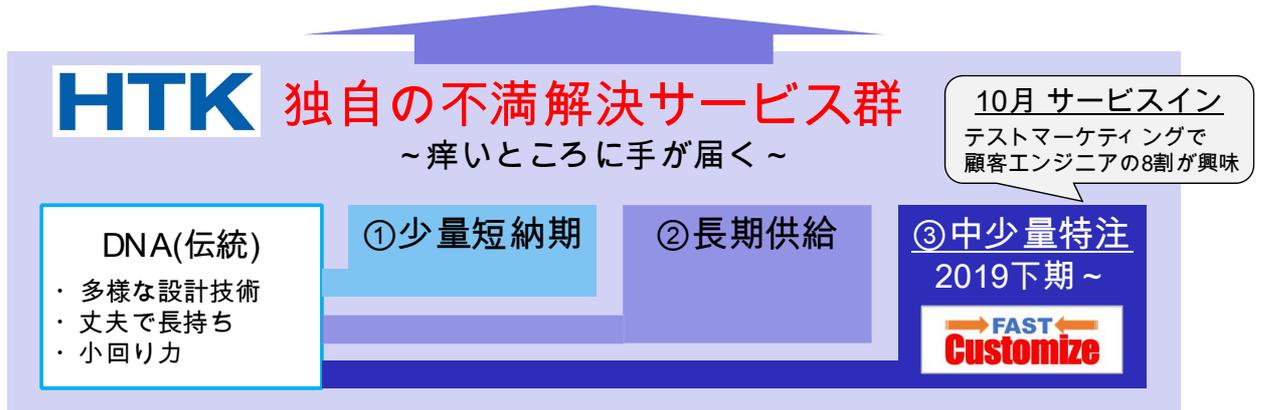
- 重要保安部品に適合した品質向上
 - ・ IATF16949取得、クリーンルーム化
- 主力機種生産の全自動化

- 新シンセン工場への円滑移転
- ベトナム新生産拠点の立上げ
 - 委託生産:20年秋スタート



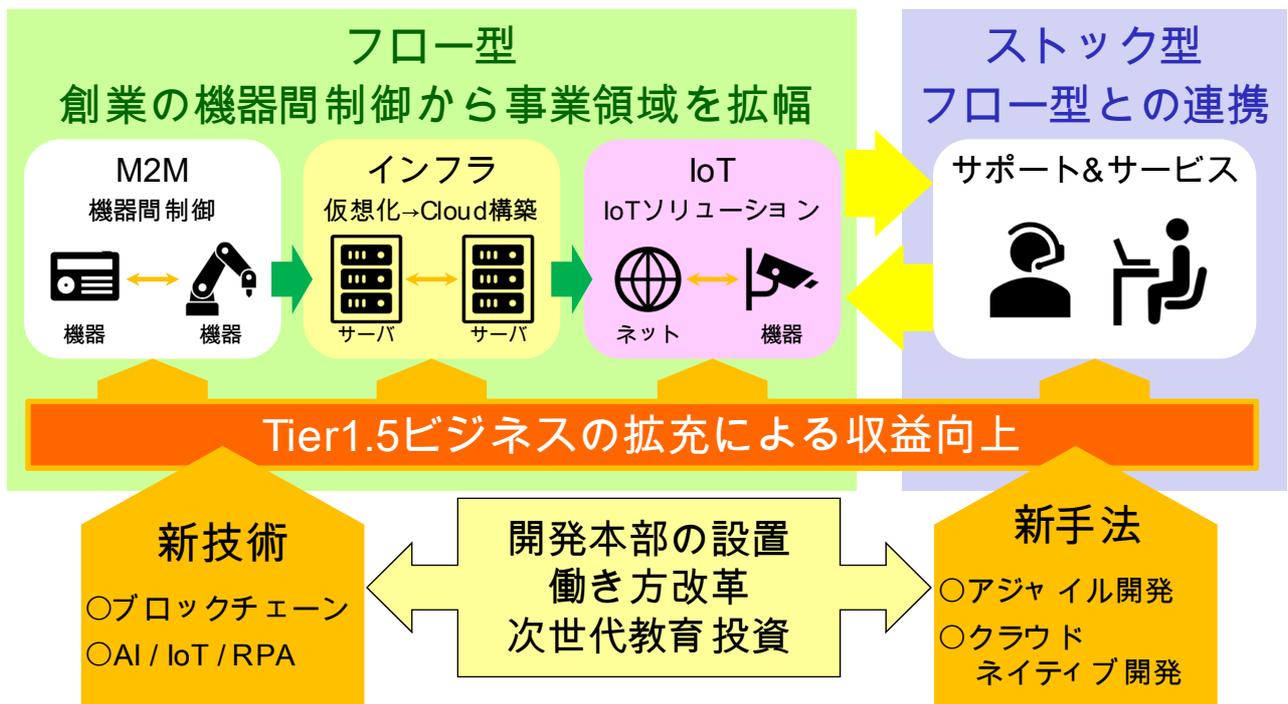
2-2.業務用コネクタ

新サービス“中少量カスタマイズ”を10月スタート
“好感度No1サービス・プロバイダ”へ革新→高収益化



2-3.情報システム

新技術・新手法の積極導入により、事業領域を一層拡幅
中核事業に向けて、今年度も過去最高を更新見込み





HTK

IRに関するお問い合わせ先

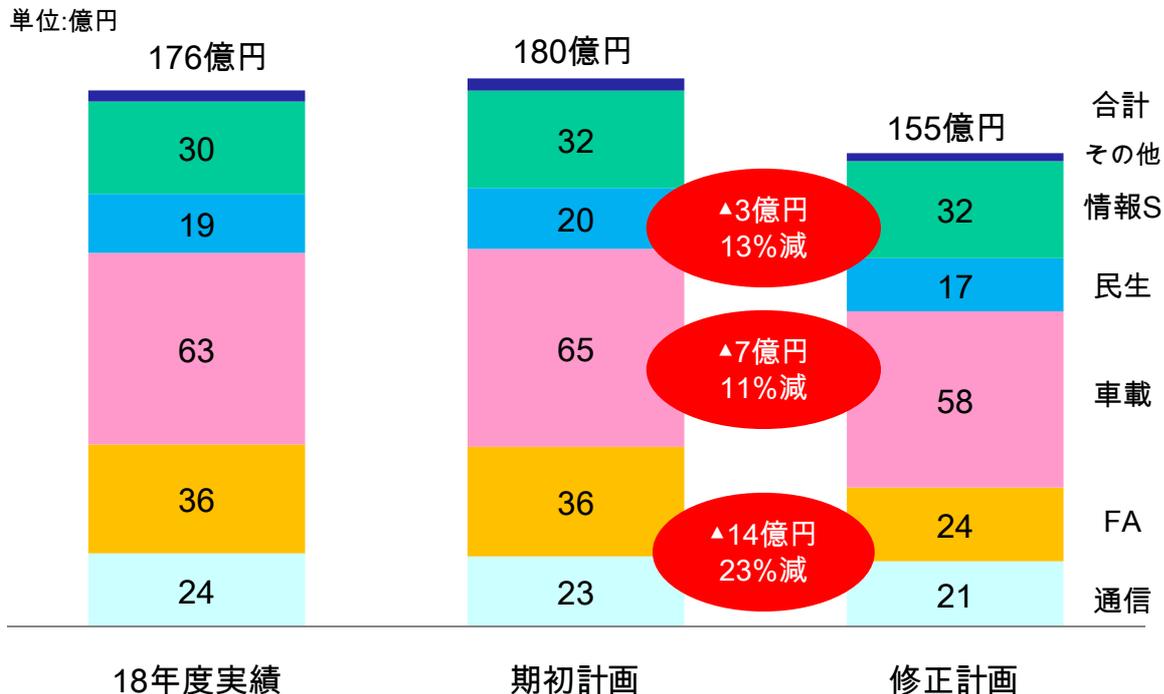
本多通信工業株式会社
 経営企画グループ
 TEL : 03-6853-5820
 URL : <https://www.htk-jp.com/>

HTK 検索



参考. 期初計画と修正計画の分野別差異

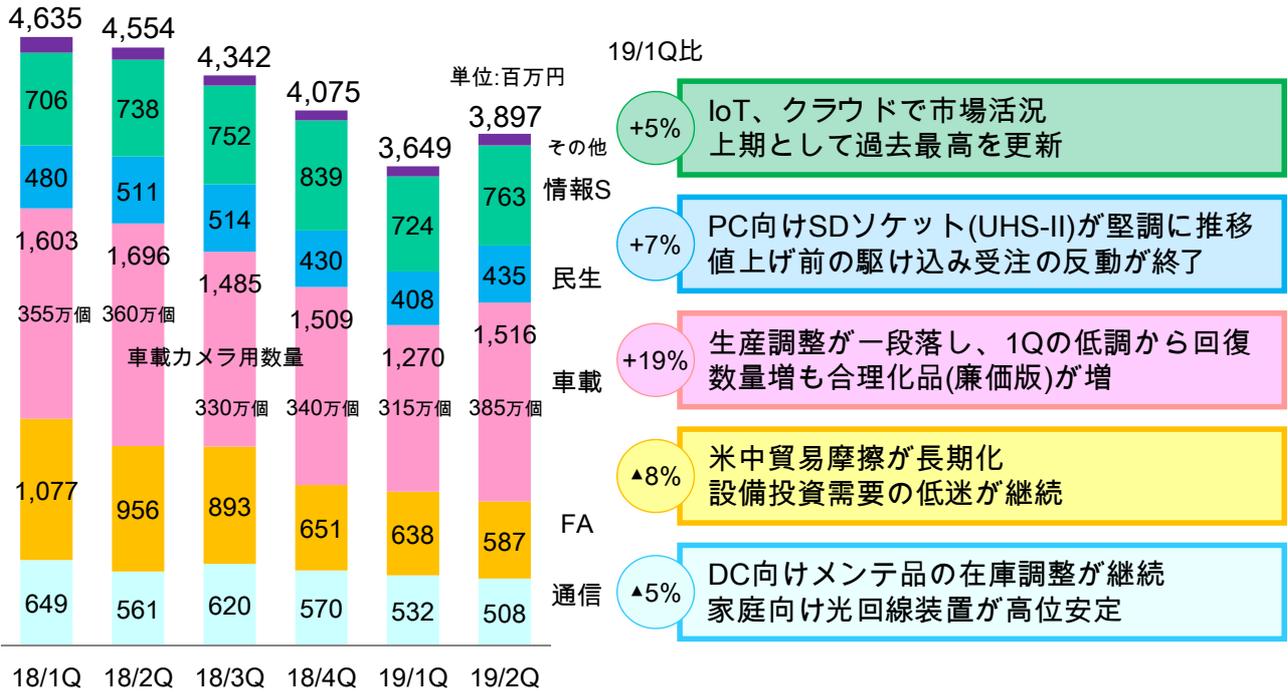
期初計画 180億円 → 修正計画 155億円
 FA・通信 = ▲14億円、車載 = ▲7億円、民生 = ▲3億円





参考.分野別の四半期売上推移

19/2Q:車載が数量増で回復、FA・通信の減収が続く



参考.コネクタ事業 連結受注推移

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2019年度 前期比	+4	-1	-	-	-
前年同期比	-20	-16	-	-	-

1\$= 110円 107円

2018年度 前期比	-3	-6	-8	-11	-17
前年同期比	-3	-18	-20	-25	-

1\$= 109円 111円 113円 110円 111円

実勢為替レートで算出